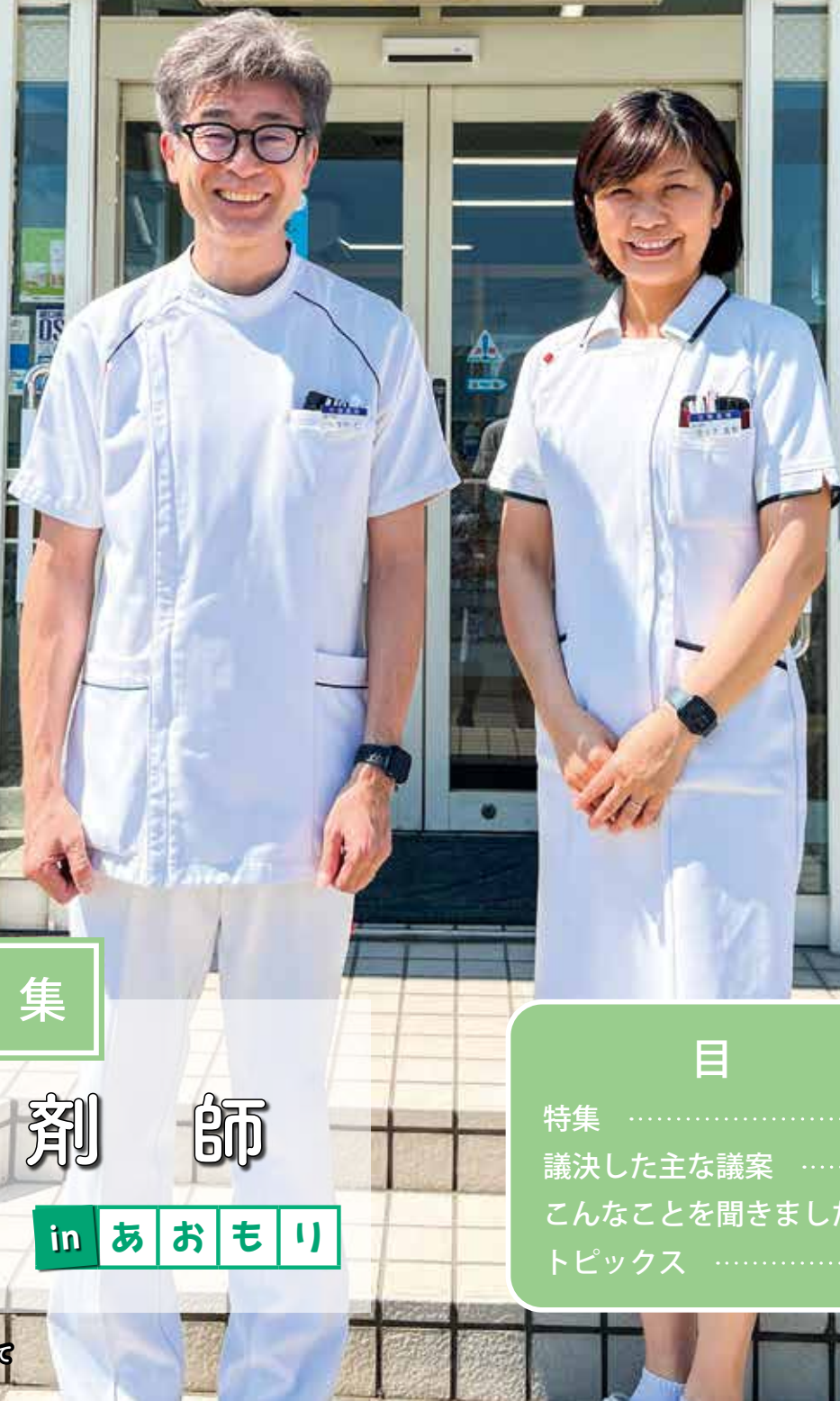


あおもり市議会だより

花園薬局

ぎかいの森

令和8年第1回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします



Vol. 37

令和8年5月

011-850

お電話に転送されます

特

集

薬剤師

in あおもり

目次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 6
トピックス	P 16

今回取材にご協力いただいたお二人です



花園薬局2階スタジオでの取材の様子。佐々木仁さん（左奥）、佐々木美幸さん（右奥）と議会だより編集会議委員。仁さんは40歳の頃に極真空手をお子さんと一緒に始め、今年で15年目。美幸さんは小学校から陸上の高跳びを続けており、現在もマスターズに出場し、大会新記録を打ち出す活躍を見せている。

特

集

薬剤師

in あおもり

今回のテーマは「薬剤師」です。厚生労働省が示す「患者のための薬局ビジョン」では、薬剤師には従来の薬剤調整等の対物中心の業務から患者に寄り添う対人中心の業務への移行や多職種連携、在宅医療への参画、地域住民の健康サポートなど様々な役割が求められ、「かかりつけ薬剤師・薬局」の普及が進められていますが、その機能や利点が国民に十分に認知されていない課題もあります。そこで今回は、市内で花園薬局を営む佐々木夫妻にお話を伺ってききましたので、その内容をお届けします。

【議員】

本日はよろしくお願ひします。まず、薬剤師を志したきっかけをお聞かせください。

【仁さん】

私、出身校が浪打小学校・浪打中学校なんですけど、あの頃は、浪打銀座の商店街がすごいにぎやかで、この商店街のどこかで働きたいという思いがあったんです。それで、中学生のときに夏泊半島を自転車で一周した際、ひどい日焼けで、やけどになり、当時、商店街にあった薬局の薬剤師さんにOTC医薬品、いわゆる

市販薬で処置してもらって、そういう人がいたら今度は自分が助けようと思ひ、将来は薬店を持ちたいなというのがきっかけで薬学の道に進みました。

【美幸さん】

私は、中学生の頃、祖母が農業をしていたのですが、有機栽培の野菜に対し、農薬を使った野菜が悪者扱いされることについて、「農薬は体に悪いのっ」「体にいい農薬はないのっ」という疑問と、薬が病気を治す一助となることに興味を持ったのがきっかけです。

【議員】

仕事をしていて、やりがいを感じることを教えてください。

【仁さん】

医師、看護師、ケアマネジャーなどと連携し、他職種との架け橋になれていると実感するんです。患者さんから相談を受けて、処方箋について医師に対し、この調合はこうなりませんかと

う相談や提案をするのですが、その結果、最善の処方を提供でき、患者さんのためになったときはやりがいを感じます。

あと、在宅訪問も行っていて、医師が施設やお宅を往診後、病院から処方箋が送られてくるので、私たちが調剤して、その薬を届けるんです。患者さんは病院に行かずに全てが完結するので、ありがとうと言って喜ばれるのもやりがいの一つです。

〔議員〕 それはやりがいを感じますね。仕事をしていて、近年、変化してきたことなどはありますか？

〔美幸さん〕 ここ1年でオンライン処方箋が大きく普及しました。例えば、東京のクリニックをオンラインで受診したら、その処方箋のファクスが薬局に来て、調剤が終わったら連絡をして、患者さんは薬を取りに来るんです。

当薬局ではLINEでの処方箋受付も行っていて、事前に写真を送っていただければ薬局での待ち時間を短縮できます。

〔仁さん〕 コロナ禍では非接触の対応にも役立ちました。また、マイナ保険証への医療情報の連携等、こうした流れに柔軟に対応していくことで、地域医療に貢献できる時代になると思っています。

〔議員〕 ほかに薬剤師として苦労されることはありますか？

〔美幸さん〕 新薬はどんどん増えます。プロとして自信を持って答えられるように常に自分自身をバージョンアップし続けることです。

〔議員〕 それでは最後に、今後、花園薬局が目指す在り方などはありますか？

〔仁さん〕 薬や健康に関することで何かあれば聞きに行こうと思ってもらえる、地域に根差した花園薬

局でありたいです。

〔美幸さん〕 先ほど在宅訪問の話がありました。先ほど在宅訪問の話が通っていた方が大病で県病等にかかって、うちから薬をもらいたいと言ってくれて、在宅で最期まで看取らせてもらったことがありました。そうやってずっと患者さんに寄り添えればと思います。

〔議員〕 まさに、かかりつけ薬剤師ですね。本日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



取材を終えて。ご協力誠にありがとうございました。

(取材日：令和8年2月4日)

左から、奈良議員、佐々木美幸さん、佐々木仁さん、村川議員



青森市議会で

議決した主な議案です。

令和8年第1回定例会

会期33日間 2月20日～3月24日

第1回定例会で可決等した

議案・請願

- 市長提出議案95件中……………95件
(承認1件、可決88件、同意6件)
- 議員提出議案5件中……………4件
(可決)
- 請願3件中……………1件
(採択)

■ 以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、上記のURLまたは2次元コードから市議会ホームページで御覧いただくか、議会事務局へお問合せください。

その1

令和8年度当初予算案を可決しました

今期定例会では、開会日に令和8年度当初予算案に関する議案53件が提案され、一般会計予算について市長からは、「青森まちづくりに400年『未来へ向けた確かな航路』予算」として編成し、令和7年度当初予算との比較では、8千800万円の増であり、過去最大の予算規模となったとの説明がありました。また、閉会日には、県からの交付金が拡充されたことを受け、保育料等の全額公費負担を実施してきた2歳児クラスの対象に、認可外保育施設を追加する等のための一般会計補正予算が提案されました。市議会では、一般会計、財産区を除く特別会計及び企業会計合わせて総額2千796億3千万円に上る同案（概要は以下のとおり）について、閉会日に採決を行い、予算案については電子表決等の結果、全て原案のとおり可決しました。

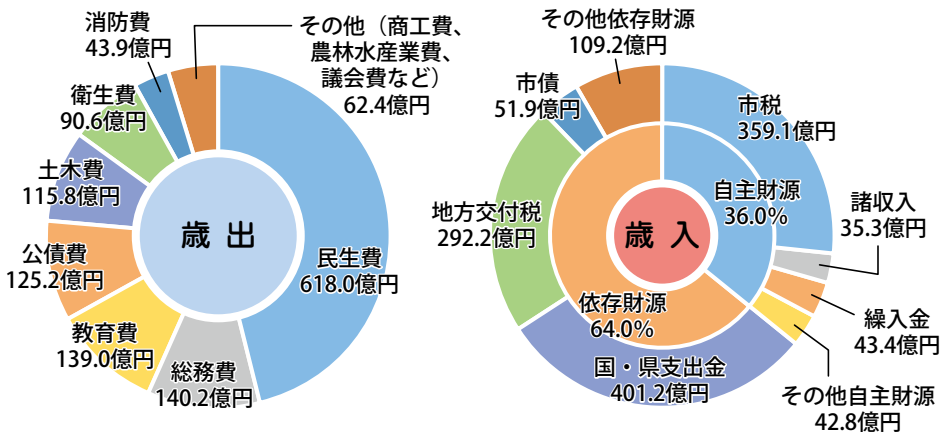
令和8年度特別会計・企業会計当初予算額

会計名	予算額	対前年度増減
競輪	381.9億円	51.1億円
国民健康保険	242.4億円	△13.3億円
卸売市場	7.0億円	0.0億円
介護保険	327.4億円	11.0億円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	0.7億円	△0.5億円
後期高齢者医療	44.3億円	3.4億円
駐車場	2.5億円	0.1億円
合計	1006.2億円	51.8億円
病院	154.5億円	15.1億円
水道	98.5億円	7.2億円
自動車運送	29.2億円	△1.0億円
下水道	166.8億円	1.0億円
農業集落排水	6.0億円	△0.8億円
合計	455.0億円	21.5億円

令和8年度青森市一般会計当初予算額

1335億1000万円

(対前年度：+8800万円)



※閉会日に提案・可決された一般会計補正予算により、令和8年度一般会計予算の総額は約1336.4億円となりました。

その2

令和7年度3月補正予算案を
可決しました

今期定例会では、開会日に、本年2月8日投開票の衆議院議員総選挙における投開票事務等に係る経費を措置した一般会計補正予算を1月23日付で専決処分したことから、その承認を求める議案が提案されました。

また、1月下旬の記録的な大雪波などの影響による豪雪災害への対応として、生活道路の除排雪強化に係る経費を含めた今後の所要見込額等を計上した一般会計補正予算案のほか、特別会計・企業会計に係る計12件の補正予算案が提案されました。

市議会では、これら議案について、原案のとおり可決し、補正後の令和7年度青森市一般会計予算は次のとおりとなりました。

● **令和7年度青森市一般会計補正予算額** 74億3千414万7千円

● **補正後の予算額**

1千93億1千648万1千円

その3

青森市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例案を可決しました

● **青森市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例**

今期定例会では、行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図り、もって市民生活の向上に寄与することを目的に、市の条例、規則等に基づく手続をオンラインにより行うことを可能とするため、必要な事項を定めた条例案が提案されました。

制定内容については、条例等の規定で書面等により行うこととしている申請、届出、処分通知等をオンラインで行うことができることとするほか、縦覧、閲覧、書類の作成等をコンピュータ等を利用し、電磁的記録により行うことなどをできることとするものです。市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

その4

青森市斎場条例の一部を改正する条例案を可決しました

● **青森市斎場条例の一部を改正する条例**

今期定例会では、新たな青森市斎場の供用開始（令和8年10月1日）に合わせ、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改正内容については、市民以外の火葬に係る使用料について、現在の指定管理料と火葬件数を基に算定し、基本となる額は4万円と定め、動物火葬の使用料については、現在の維持管理・運営費用を反映させた使用料とするものです。また、青森市斎場については、今後の収入確保のため、市民以外の使用を可能とするほか、動物火葬を除き、無料となる市民の定義については、火葬区分ごとに設定するなどの改正を行うものです。市議会では、同案について、原案のとおり可決しました。

その5

青森市営一般乗合自動車料金条例の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市営一般乗合自動車料金条例の一部を改正する条例

今期定例会では、東日本旅客鉄道株式会社等において、旅客運賃の割引の対象に精神障がい者が追加され、精神障害者保健福祉手帳にも割引適用に必要な障がいの程度が明記されたことに伴い、青森市営一般乗合自動車運送事業においても割引対象となる介護人か否かの判別が可能となったことから、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

改正内容については、青森市営一般乗合自動車運送事業における障がい者の介護人への普通旅客料金の割引について、片道普通旅客料金の割引の対象に、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の介護人を加えるものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

質

問

質

疑

こんなことを

聞きました。

第1回定例会において行われた一般質問、予算特別委員会の議案質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第1回定例会

一般質問	25名
予算特別委員会	18名
(蛇名委員長、澁谷副委員長)	
議案質疑(閉会日)	2名

※本会議での一般質問等の様子については、生中継及び録画映像の配信をしておりますので、下の2次元コードからアクセスの上、御覧ください。



防災

災害対策の見直し

について



日本共産党 赤平 勇人

Q 今冬の豪雪災害への対応から、災害対応や支援の在り方が課題として挙げられ、除排雪だけではなく、災害対策全体について、抜本的な見直しの必要があると思いますが、市の考えをお示しくください。

A 赤坂副市長 市でも、今回の事例を様々な角度から分析しているところですが、除排雪体制はもとより、様々な災害対策をトータルで検討していくことは、非常に重要なことだと認識しており、今後どのように進めていくかについて、議会での御指摘等も踏まえ、検討してまいりたいと考えています。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

防 災



地区別防災カルテについて

公明党 工藤 夕介
くどう ゆづりけ

Q 地域防災活動の羅針盤としてだけでなく、日頃の災害への備えとして、個人、地域において役立てることができる本市の地区別防災カルテの概要をお示しく下さい。

A **総務部長** 当該カルテは、小学校区を基本単位として市内を47地区に区分し、各地区の地震被害予測、人口、建物数、避難所などの防災関連施設の分布情報をまとめ、災害危険箇所に関する情報を地図上に示しています。また、当該カルテの使用に当たっての注意事項やQ&Aをまとめた防災カルテの使用方も作成しています。

防 災



避難所の管轄部署の見直しについて

市民クラブ 奈良 祥孝
なら しょうこう

Q 本市では、避難所の管轄は福祉部ですが、東日本大震災時、他自治体では福祉部局が困窮者支援等で避難所運営が十分にできなかったという話を伺いました。避難所の管轄を総務部へ移すべきと思いますが、市の考えをお示しく下さい。

A **総務部長** 市では、速やかに全庁体制で災害対応に当たれるよう、各部局に役割を分担しています。避難所の開設等は福祉部が、災害対策本部等の運営等は総務部が担うこととしており、現行の運用に特段課題は認められず、適切に機能しているものと考えています。

競 輪



競輪事業について

日本共産党 万徳 なお子
まんとく なおこ

Q ギャンブル依存症を生む競輪事業からの撤退を求めますが、本事業は本市財政の貴重な収入源だと言います。検証が必要なことから、競輪事業による一般会計への繰出金の額をお示しく下さい。

A **企画部長** 繰出金の額については、令和5年度及び令和6年度は4億4千万円であり、令和7年度は5億8千万円を計上し、本定例会で補正予算案を御審議いただいています。今後本市の財政健全化に寄与するため、競輪ファン以外の皆様にも身近に感じてもらえる競輪場づくりに努めてまいります。

スポーツ

Q 当該事業の概要をお示しください。

A 経済部理事 第80回国民スポーツ大会は、本年9月から10月にかけて行われ、本市では、陸上競技、水泳、テニスなど14競技を開催し、現在、大会の成功に向け、県や競技団体と連携しながら各種準備を進めています。当該事業は、令和8年度当初予算案に約24億4千238万円を計上し、その主な内訳は、競技会運営に係る経費として約17億7千830万円、選手・監督等の輸送実業務や宿泊施設の調整業務などに係る経費として約3億4千581万円などとなっています。



第80回国民スポーツ大会開催事業について

創青会 館山 善也

文化

Q 本市は、小学校入学後、毎年度版画学習を実施する版画の街・あおもりであります。棟方志功の世界を子どもたちに伝えるための教育委員会の取組をお示しください。

A 教育長 市では、画伯没後50年記念展の開催や、本記念展の開催に際し、「棟方志功を学ぶ青森の子世界のムナカタ 指導資料集」を刊行し全小・中学校に配付しました。各学校では、当該資料集を用いて、裏彩色を用いた色彩豊かな版画の制作等に取り組んでおり、裏彩色版画展では、1千126点の作品が応募されたと聞いています。



棟方志功画伯顕彰について

創青会 小倉 尚裕



教育

Q 当該事業の概要をお示しください。

A 教育委員会事務局理事 当該事業は、老朽化する泉川小学校の校舎及び屋内運動場の改築等を実施するものであり、現在、基本設計中ですが、構造は鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積は校舎及び屋内運動場の両施設で約8千平米としています。整備スケジュールは、令和8年度に実施設計、令和9年度から令和11年度にかけて校舎・屋内運動場の改築工事、令和12年度に既存校舎等の解体、令和13年度から令和14年度にかけて校庭整備工事を予定しています。



泉川小学校校舎等改築事業について

自民クラブ 大矢 保

緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

教育



あおもり「夢体験休暇」
利用家庭の感想について

自民クラブ 澁谷 洋子
しづたに ようこ

Q あおもり「夢体験休暇」を利用した家庭から、どのような感想が寄せられているのかお示しく下さい。

A 教育長 体験を終えた186家庭へのアンケート調査の結果、「子どもの夢や志を応援するきっかけとなった」が90・3%、「あおもり夢体験休暇を来年度も実施したい」が98・9%など、肯定的な回答をいただいたほか、自由記述でも、休日に休めない親にとって平日に家庭の時間を取得できるありがたい制度であり、子どもの挑戦や体験の場をつくることでできてうれしい等の感想が寄せられました。

教育



通学路の安全確保について

立憲民主・社民 小熊 ひと美
おぐま ひとみ

Q 今冬は除排雪が追いつかず、通学路の安全確保ができないため、小・中学校が臨時休校となりました。こうした事態を避けるために、来年度以降の通学路の安全確保に係る取組をお示しく下さい。

A 教育部長 国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所をはじめ、青森警察署や青森市PTA連合会、本市関係部局等で構成される青森市通学路安全推進会議において、今冬の状態も踏まえ協議するとともに、学校運営協議会等とも連携して通学路の安全確保に努めてまいります。

教育



浪岡学校給食センターの
継続について

日本共産党 天内 慎也
あまみや しんや

Q 市では、豪雪等で給食が配送不能になった場合に備え、備蓄品を準備していますが、児童・生徒には、冷たい備蓄品でなく、温かい給食を食べてほしいと思います。当該センターの存続が児童・生徒の安心・安全につながると考えますが、市の見解をお示しく下さい。

A 教育委員会事務局理事 当該センターは老朽化が著しく、建て替えには多額の費用を要するとともに、今後も浪岡地区の児童・生徒数の減少が予想されていることから、青森市小・中学校給食センターへ集約することとしています。

教育



困り感のある児童・生徒への支援について

無所属 山田 千恵

Q 特性や困り感のある児童・生徒を支援してくれる特別支援教育支援員の支援内容と配置状況についてお示しください。

A 教育長 本市では、通常学級に在籍する児童・生徒のうち、肢体不自由や多動傾向等により特別な配慮を要する児童・生徒に対し、授業における学習活動の支援、校外活動等における安全確保の支援等、その他校長が学校生活に関して必要と認める支援などを行う特別支援教育支援員を配置しており、令和7年度は小学校36校に46人、中学校4校に4人となっています。

除排雪



雪道での

自動車損壊について

立憲民主・社民 藤田 誠

Q 今冬は、雪により市の道路状況が悪く、自動車の一部を損壊した方も多いと思いますが、その場合に市に損害賠償請求できる条件についてお示しください。

A 都市整備部理事 道路等の公の営造物の管理に瑕疵があった場合は、道路管理者に損害賠償請求ができますが、冬期間の道路については、積雪・凍結などのあらゆる現象に対し、その発生を予見し、除去や注意喚起等を促すことは困難であり、管理瑕疵が認められないため、損害賠償請求にお応えすることはできないものと考えています。

除排雪



除排雪の出動指令表の

公開について

公明党 渡部 伸広

Q 除排雪作業の実施予定日など市民に分かりやすい指令状況の情報提供のため、市長や部長に報告する出動指令表を公開することについて、市の見解をお示しください。

A 都市整備部理事 本市除排雪対策本部で作成する出動指令表の内容に基づき、出動指令状況を市ホームページで公表しています。今冬実施した除排雪検討会議において、除排雪オペレーターや市民が必要としている情報の発信について意見を聞いたことを踏まえ、情報公開の在り方や発信方法などについて引き続き検討してまいります。

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

除排雪

A 都市整備部理事 除排雪事業の実態把握や作業の実施基準などの検討のほか、二段階除雪やコールセンターにおいて確認された課題、市民に分かりやすい除排雪実施予定日などの情報提供など、多岐にわたるものと認識をしています。

Q 今冬は、生活道路が長期間機能を停止するなど、市民生活の基盤に直接的な影響が及び、除排雪体制等の早急な改善が必要だと考えます。市長が記者会見で、抜本的な見直しが必要になるかもしれないと発表しましたが、市が想定している改善項目をお示しくください。



自民クラブ 関 貴光

除排雪体制等の抜本的な見直しについて

除排雪

A 都市整備部理事 通行止め区間の情報や、除雪作業実施済み区間の情報などを公開できるよう、その方法について検討してまいります。

Q 今冬は長期間除雪が入らず、市内のあちこちの道路で過去に経験のない渋滞が起りましたが、市が把握している路線だけでも、通行の可否、道幅や路面の凹凸の状況、スタックの状況などについて、市の「除排雪出動指令状況」のマップを使い、インターネット上に表示し、豪雪時に車を運転する上で参考となる情報提供をできないか市の考えをお示しくください。



自民クラブ 小豆畑 緑

豪雪時の道路情報の提供について

除排雪

A 都市整備部理事 雪捨場は幹線道路近傍に所在し、騒音対策として近隣に住宅が密集していないこと等、また、雪寄せ場は住宅密集地近傍に所在すること等の要件があります。市では除排雪体制構築の課題の一つである雪捨場等の確保に向けて検討を進めてまいります。

Q 市の普通財産のうち未利用の土地で、市民雪寄せ場等に使用できる広さの土地が85件、除排雪事業者の雪捨場等に使用できる広さの土地が16件あるとのことですが、冬の雪捨場や雪寄せ場への活用について考えをお示しくください。



市民クラブ 工藤 健

未利用の土地の活用について



市民に貸与している
小型除雪機について

創青会 里村 誠悦

Q 市民に貸与している小型除雪機に、故障して危険なものがありました。点検して駄目なものは廃棄し、新しいものを購入するべきと思いますが、現在、市が保有する小型除雪機の台数をお示しくください。

A 都市整備部理事 市では、地域住民で組織する団体が自主的に歩道、通学路等の除雪を行う場合に市が所有する小型除雪機を貸与しており、今年度は61団体に63台を貸与しています。なお、今冬は国による支援として、シーズン当初からの5台に加え、2月3日以降、追加で8台の貸与を受けています。

除排雪



私道における除排雪の
責任について

無所属 中村 美津緒

Q 奥野四丁目に地権者の意思により除排雪が行われない道路が存在しています。通行に支障を来すだけでなく、緊急車両の進入が妨げられている、その責任は誰が負うのか、市の見解をお示しくください。

A 都市整備部理事 当該道路は私道であるものの、公共性がある道路として、これまで本市が除排雪作業を実施してきましたが、本年1月に地権者から除雪を行わないよう申入れがありました。市は除排雪の継続実施を申し入れ、拒否されたものの、引き続き所有者へ対応していきたいと考えています。

除排雪



生活道路に係る
除排雪委託料について

創青会 木村 淳司

Q 当該支払い金額は出勤回数と関係なく、累積降雪量で決まります。今冬、ほとんど出勤しなかった業者に対しても、すぐさま指令に対応し出勤した業者と同様に満額を支払うことは到底納得できないと考えます。各工区、各業者への支払い予定額等を公開する考えはないか、市の見解をお示しくください。

A 都市整備部理事 本市の除排雪業務は業務履行の担保措置や除排雪業務評価制度等を組み合わせて実施し、個々の出勤回数のみをもって委託料の支払いを判断する契約内容とはなっていないところです。

除排雪

除排雪

A 市長 今冬は、昨冬の教訓を踏まえ、様々な見直しを行い備えてまいりましたが、結果として除排雪作業の大幅な遅れが生じたことを重く受け止めています。まずは、今冬の検証をしっかりと行い必要な見直しをし、今冬の教訓を確実に来冬に生かしていくことが市長としての責任であると考えています。市民の生活を守るために危機管理対策、除排雪対策に全力で取り組んでまいりたいと存じます。

Q 新しい除排雪体制をつくるという、来冬に向けた覚悟の言葉を西市長自身の言葉でお示しくください。



来冬の新たな除排雪体制構築への決意について

自民クラブ 中田 靖人
なかた やすひと

除排雪

A 都市整備部理事 浪館通りの歩道融雪施設の整備は、道路管理者である県との役割分担等を踏まえる必要があります、県と連携を図り対応する必要がありますと認識しています。

Q 今冬は歩道除雪が全く実施されず、歩くのが困難な状況でした。浪館通りの歩道融雪施設を延長するべきと思いますが、道路管理者である県においては、本市の冬期バリアフリー計画に歩道融雪の延長を位置づける必要があるとのことでした。作成から10年以上経過する当該計画を見直す考えはないか、市の見解をお示しくください。



浪館通りの歩道融雪施設について

日本共産党 村川 みどり
むらかみ

除排雪

A 都市整備部理事 GPSやカメラの全市的な導入にはコスト削減策の検討が必要です。市はGPS等の導入に向けた費用圧縮策として、BYOD方式のシステムを試験導入しており、当該試験導入結果等を調査しながら、除排雪作業の効率化や道路状況の把握の高度化に向けた見直しを進めてまいります。

Q 今冬は市内の道路状況を把握し切れなかったことも課題だと思えます。除排雪事業者の重機にGPSとカメラを搭載し、道路状況の把握に活用してはどうかと考えますが、市の見解をお示しくください。



冬期間の道路状況の把握について

創青会 木戸 喜美男
きど きみお

※BYODとは…従業員が個人保有の携帯用機器を職場に持ち込み、それを業務に使用すること。

交通



A 交通部長 バス路線の編成については、各路線の利用状況や利用者の新たな需要等の動向、バス運行効率などを踏まえ、その最適化が図られるよう総合的に勘案しながら実施しています。また、停留所の設置については、交通部のバス停留所設置基準に基づき、乗降可能な道路環境、交通の安全性、需要、停留所間の距離が市街地はおおむね30メートル、そのほか郊外はおおむね50メートル離れていること等を考慮して設置しています。



市営バスについて

市民クラブ 木下 靖
まのした やすし

Q バス路線の編成や停留所設置の考
え方についてお示しください。

交通



100周年記念セレモニーにおいて名前が発表された市営バス公式マスコット

A 交通部長 本年3月8日に100周年記念セレモニーを、令和8年度には、子ども会議委員の車内アナウンスによるバス停留所案内、公式マスコットグッズの販売、100周年記念誌デジタル版のホームページへの掲載、市営バス歴史パネル展の開催などを企画しています。



市営バス100周年 記念事業について

市民クラブ 柿崎 孝治
かきざき こうじ

Q 令和8年3月6日で青森市営バスは発足100周年を迎えます。将来を担う子どもたちが市営バスに愛着を持つようなイベントや企画を
していたきたいと思いますが、どのような100周年記念事業を企画しているのかお示しください。

鳥獣対策

A 環境部長 市では、令和7年度内にマニュアルの完成を予定しているほか、令和8年度には、ガバメントハンターの配置や、市街地等への出没を想定した訓練、猟友会への委託、補償費用保険等への加入など、緊急銃猟が必要になった際の体制整備を進めてまいります。



緊急銃猟の準備状況 について

市民クラブ 竹山 美虎
たけやま よしとら

Q 令和7年度のツキノワグマの出没件数は323件、捕獲頭数も26頭と過去最多を更新中であり、人身被害も発生しました。緊急銃猟制度が開始し、国は市町村に当該マニュアルの作成等を求めています。本市の準備状況をお示しください。

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

福祉



公明党 軽米 智雅子
かろまい ちゆかこ

読み書きに困難がある方への合理的配慮について

Q ディスレクシアの障害を持つ人や高齢者、外国人等、読み書きに困難を抱える方への合理的配慮として市民窓口へ申請書等の平仮名による記入見本を置き、さらなる窓口対応の充実を図るべきと思いますが、市の考えをお示しくください。

A **福祉部長** 平仮名表記による記入見本の作成については、読み書きに困難を抱える方の不安を軽減し、利便性を高めるための有効な手法の一つであることから、今後、当事者の意見を聴取するとともに、関係部局と連携し、窓口環境の在り方を検討してまいります。

※ディスレクシアとは…学習障がい
の一種で、一般的な理解能力などに特に異常がないが、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える障がいのこと。

保健医療



無所属 相馬 純子
そうま じゆんこ

ギャンブル依存症対策について

Q 市民が依存症対策の情報を得られるよう、市ホームページへの掲載や、実際に依存症になった当事者やその家族が作成したチラシ等を市有施設等に設置することについて、市の考えをお示しくください。

A **保健部長** 市保健所では、ホームページ等への掲載や、保健所内家族会等のチラシ等を設置するなど周知に努めていますが、十分に情報や支援が届いていない可能性があることを踏まえ、より見やすいホームページの工夫や保健所以外の市有施設へのチラシ等の設置について検討してまいります。

病院



立憲民主・社民 蛭名 和子
えびな かずこ

共同経営・統合新病院の一般病床数について

Q 当該病院の一般病床数は、令和4年では800床から900床と推計し、令和7年には751床に見直しされ、さらに昨年12月に701床へ見直すことが公表されました。病床数が少なく、入院できない患者が出るのではと心配する声があります。見直しに至った経緯をお示しくください。

A **市民病院事務局長** 今回の見直しは、入院患者数がコロナ前の水準に回復していない状況を踏まえたものであり、これまでよりも長期間となる平成29年度から令和6年度までの8か年平均のデータを用いた試算から701床としたものです。

記録的な豪雪に対する緊急要望書を手交しました

市議会では、本年2月7日に、奈良岡議長・木戸副議長をはじめ、会派の代表者において、記録的な豪雪に対する市の対応について、除排雪事業実施計画に掲げる実施項目の徹底と、市民の安心・安全のため、除排雪作業の速やかな完了を緊急要望しました。また、特に優先する必要があるものとして、以下の項目を市長に対し要望いたしました。

- 1つに、日中の一斉排雪の実施
- 2つに、市民の相談窓口の電話がつかない状況の改善
- 3つに、市長から市民への積極的な情報発信
- 4つに、家屋等の倒壊や農業施設等への被害の把握と速やかな対応
- 5つに、通学路を確保するための除雪の徹底
- 6つに、生活道路や歩道の除排雪の徹底
- 7つに、国・県に対する除排雪対策に係る財政支援についての要望
- 8つに、県に対する県道の除排雪の徹底についての要望



緊急要望書手交の様子

市議会ホームページをみてみませんか？

市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、議員紹介や過去の議会における議案等の議決結果、本会議の生中継及び録画映像の配信や会議録の検索、政務活動費に関する情報、市議会だよりなど、様々な内容を掲載しております。

市議会が何をしているのに興味はあるけれども分からないといった方は、ぜひ市議会ホームページをご覧ください。当ホームページは右の二次元コードからアクセスできます。



傍聴者の声から

令和8年第1回定例会を傍聴された方から寄せられた御意見等を御紹介します。

- 初めて参加しました。今冬の除排雪への対応に際し、旧態依然のやり方を廃すべきです。議員の真摯な意見に耳を傾け、事なかれ主義を排除しなければ、何も変わらないし、来冬ますます被害が拡大、人口流出は止まりません。「市は我々を見放した」と嘆く声を多数聞きます。このままでいいはずないですよね？
- 役所側の答弁があまりに通り返りで危機意識が感じられず、愕然としました。事の重大さを我が事として受け止め対応すべきです。市長へ向けられた質問に対して、市長ご自身の回答がなかったのは至極残念です。

編集後記

議会だより編集会議
委員 村川みどり

今冬の豪雪災害で市民の皆さんの命も暮らしも脅かされました。救急車や消防車、灯油や物資の輸送なども滞り、通所系・訪問系サービスまで休止を余儀なくされました。これまでの慣例にとらわれず、除排雪体制の抜本的見直しが必要です。私たち市議会議員も市民の皆さんの声を行政に届け、積極的提案を行いました。本紙や録画中継もご覧ください。

令和8年第1回定例会の傍聴者は130人、インターネット生中継へのアクセス件数は4,397件でした。
令和8年第2回定例会は5月29日開会の予定です。